



メディシノバ・インク

2005年12月期決算説明会



2006年2月17日

取締役会長・CEO 岩城裕一



注意事項

- ❖ この資料には米国証券取引委員会の規定する「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。この資料において、将来発生することを当社が期待、信頼、あるいは予想している活動、出来事、および進展にかかる記述は、過去の事実を除きすべて「将来の見通しに関する記述」に該当する可能性があります。これらの記述は当社の立てたある前提に基づくものであり、これら前提は経営陣の経験や過去の傾向、現況、期待される将来の進展、およびその時の状況下において適切と判断する他の要因に対する経営陣の認識に基づくものであります。このような記述は多くの前提、リスク、不確定要素の影響を受けますが、これらの多くは当社のコントロールが及ばないものであり、実際の当社の業績は「将来の見通しに関する記述」に表現されるあるいは示唆されるものと大きく異なることがあります。



2005年度のハイライト

開発プロジェクトの進捗

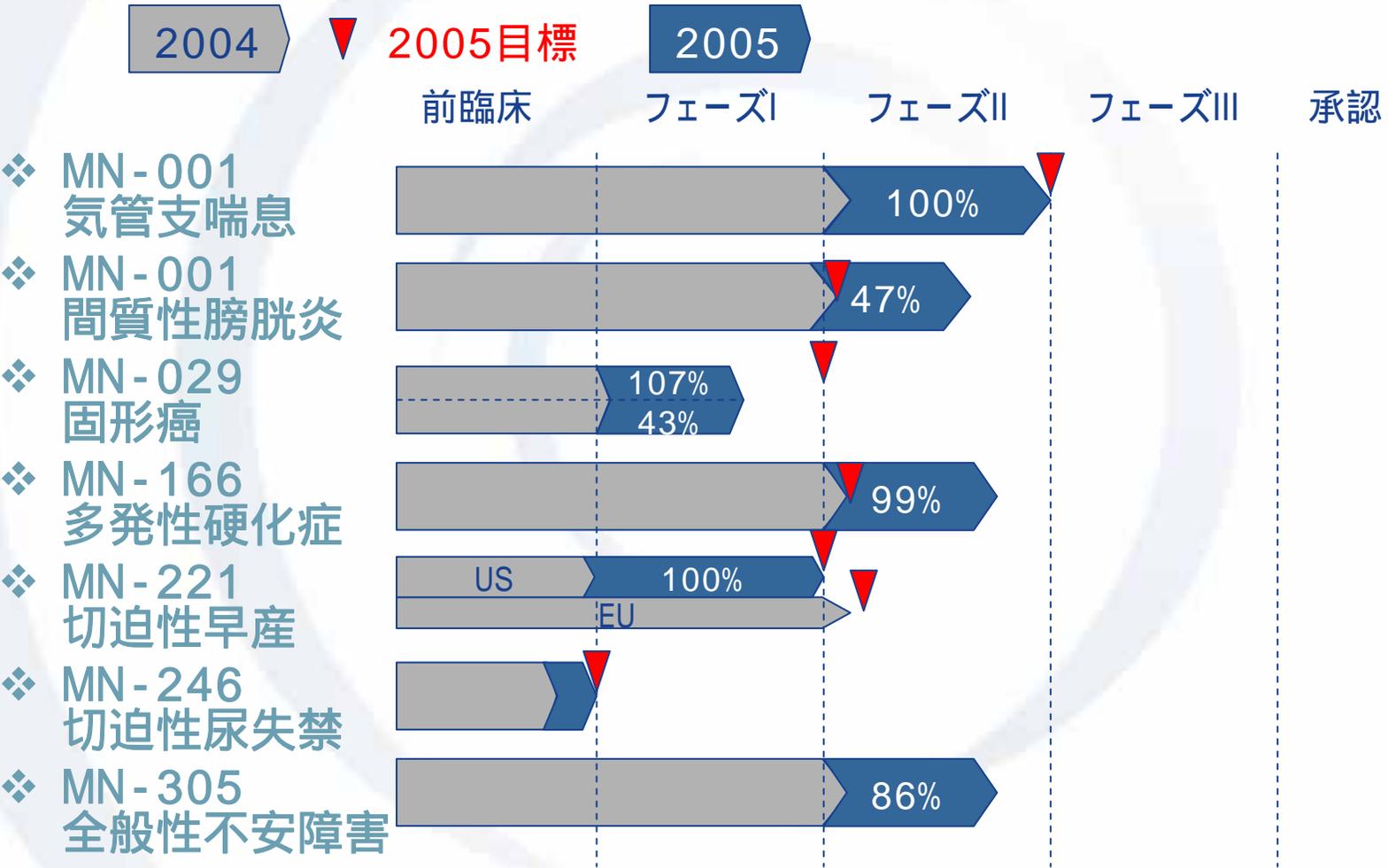
- MN-001フェーズIIの試験目標達成
- 全7プロジェクトが臨床ステージへ
- MN-305, MN-166のフェーズIIも順調な進捗

業績予想対比赤字縮小

- 売上高対前年度対比64%増
- 純損失対期初予想比32%減
- 期末流動性資金残高164億円(USD=118円)



開発プロジェクトの進捗





業績予想対比赤字縮小

	当期	前期	対前期比	期初予想	対期初予想比
売上高 (千米ドル)	804	490	64.0%	750	7.2%
営業損失 (千米ドル)	30,088	48,612	38.1%	40,900	26.4%
純損失 (千米ドル)	25,692	48,273	46.8%	37,700	31.8%



- ❖ 既存プロジェクトへの経営資源の集中
- ❖ 導出活動の強化



2006年度の課題

開発プロジェクトのさらなる進捗

導出提携の強化

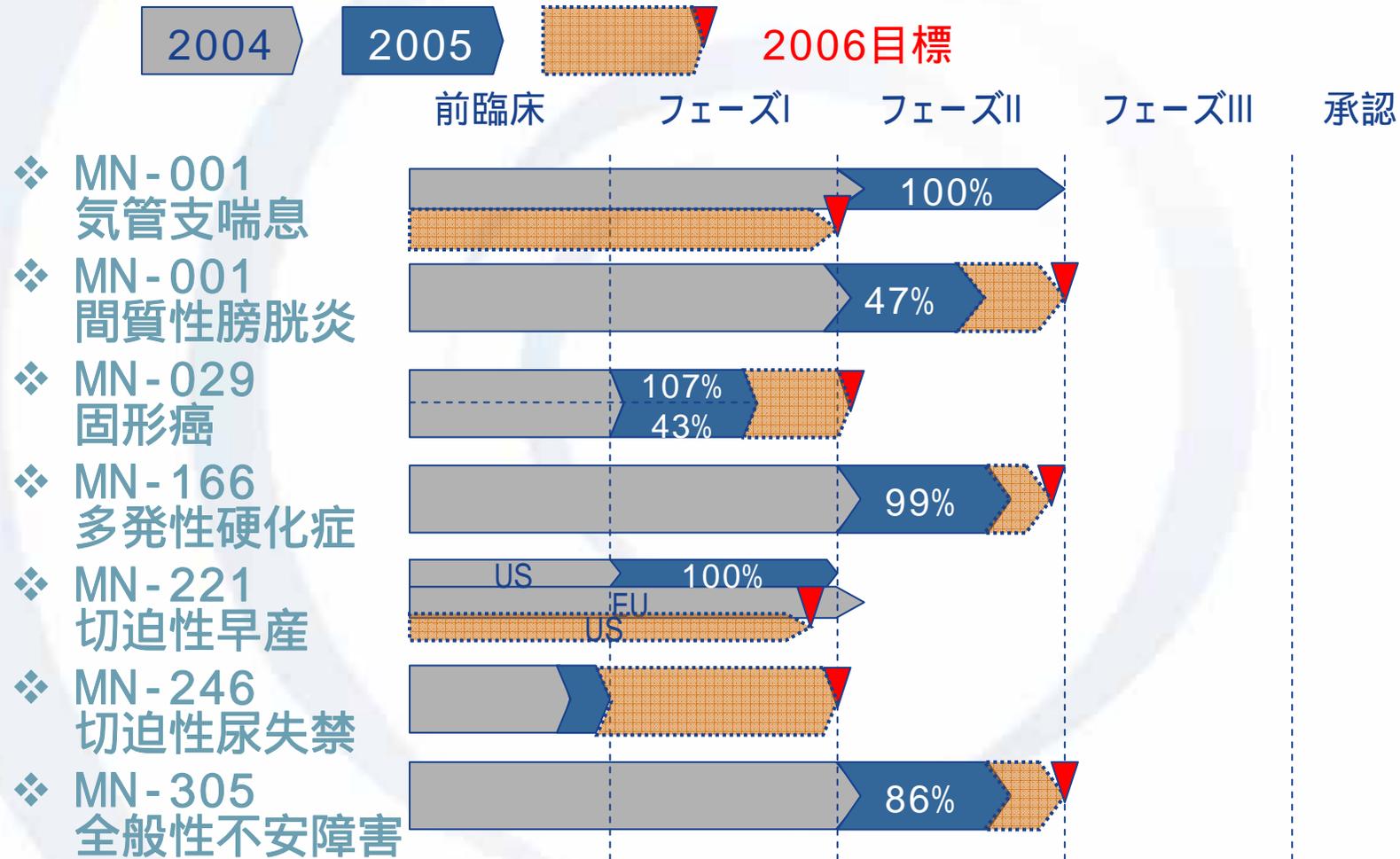
- 事業開発チームは導出活動に特化

資本政策の強化

- 投資家層の拡大



開発プロジェクトのさらなる進捗





次期業績見通しと主要前提

(米ドル)

	通期	対前年度増減(比)
売上高(営業収益)	313,000	491,068 (61.1%)
営業損失	40,308,000	10,220,351 (34.0%)
当期純損失	35,089,000	9,396,865 (36.6%)
一株あたり純損失	0.37	0.08 (27.6%)

- ❖ 開発管理サービスにおけるCROへの一時金支払い減少
- ❖ 臨床試験進捗に伴う研究開発費用増加
- ❖ 金利収入の増加



業績ならびに財務概況

経理・管理担当副社長 浅子信太郎



当期業績の主要因

❖ プラス要因

- 株式報酬費用の減少
- 第三者割当増資(Green Shoe)、新株公募(IPO)増資による資本増強

❖ マイナス要因

- 開発プロジェクト進捗に伴う研究開発費の増加
- 開発業務拡張ならびに公開企業としての管理体制強化に伴う組織の拡充

損益計算書のポイント

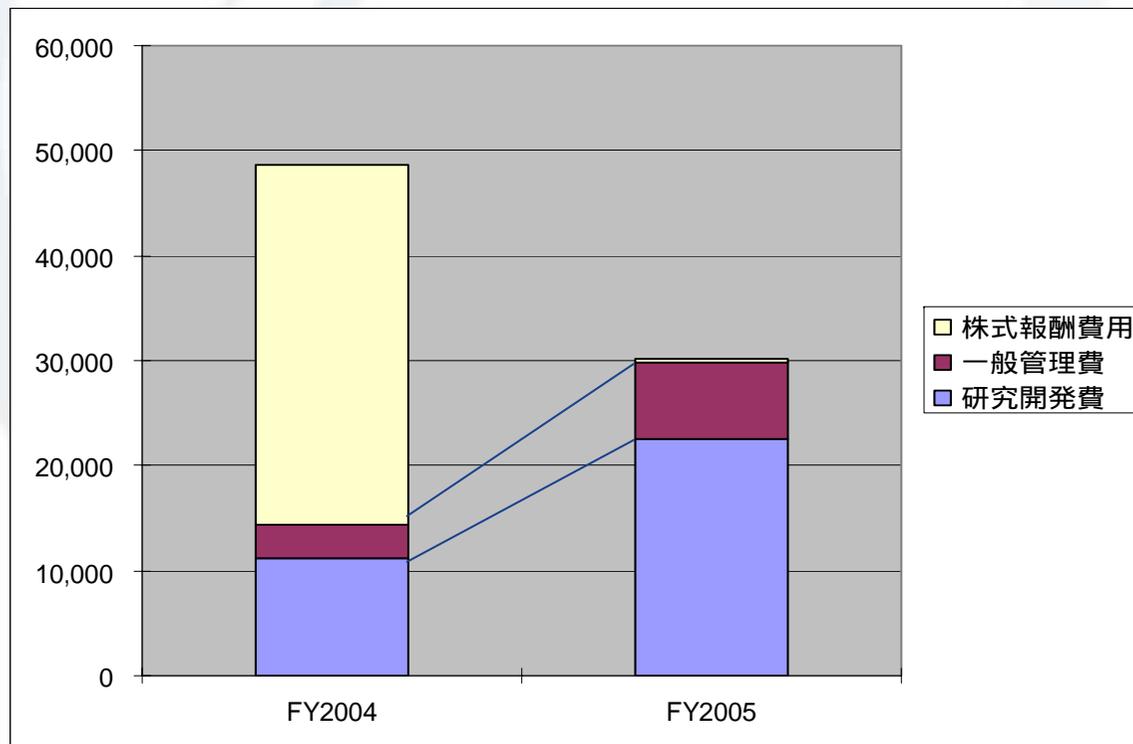
(米 千ドル)	今期	前期	対前年比増減	
営業収益	\$ 804	\$ 490	\$ 314	開発管理サービスが予定通りに進行
営業費用：				
営業収益原価	674	438	236	開発管理収入に準じて原価も増加
研究開発	22,464	11,210	11,254	臨床試験費用増、ライセンシング費用減
一般管理費	7,314	3,160	4,154	人件費、保険料、外部専門職支払い増
株式報酬費用	439	34,295	(33,856)	前期付与されたストックオプションの償却のみ
営業費用合計	30,891	49,103	(18,212)	
営業損失	(30,087)	(48,613)	18,526	
受取利息	4,396	340	4,056	現金及び現金同等物や有価証券残高増、米国金利上昇
当期純損失	(25,691)	(48,273)	22,582	



営業費用変動要因

(米 千ドル)

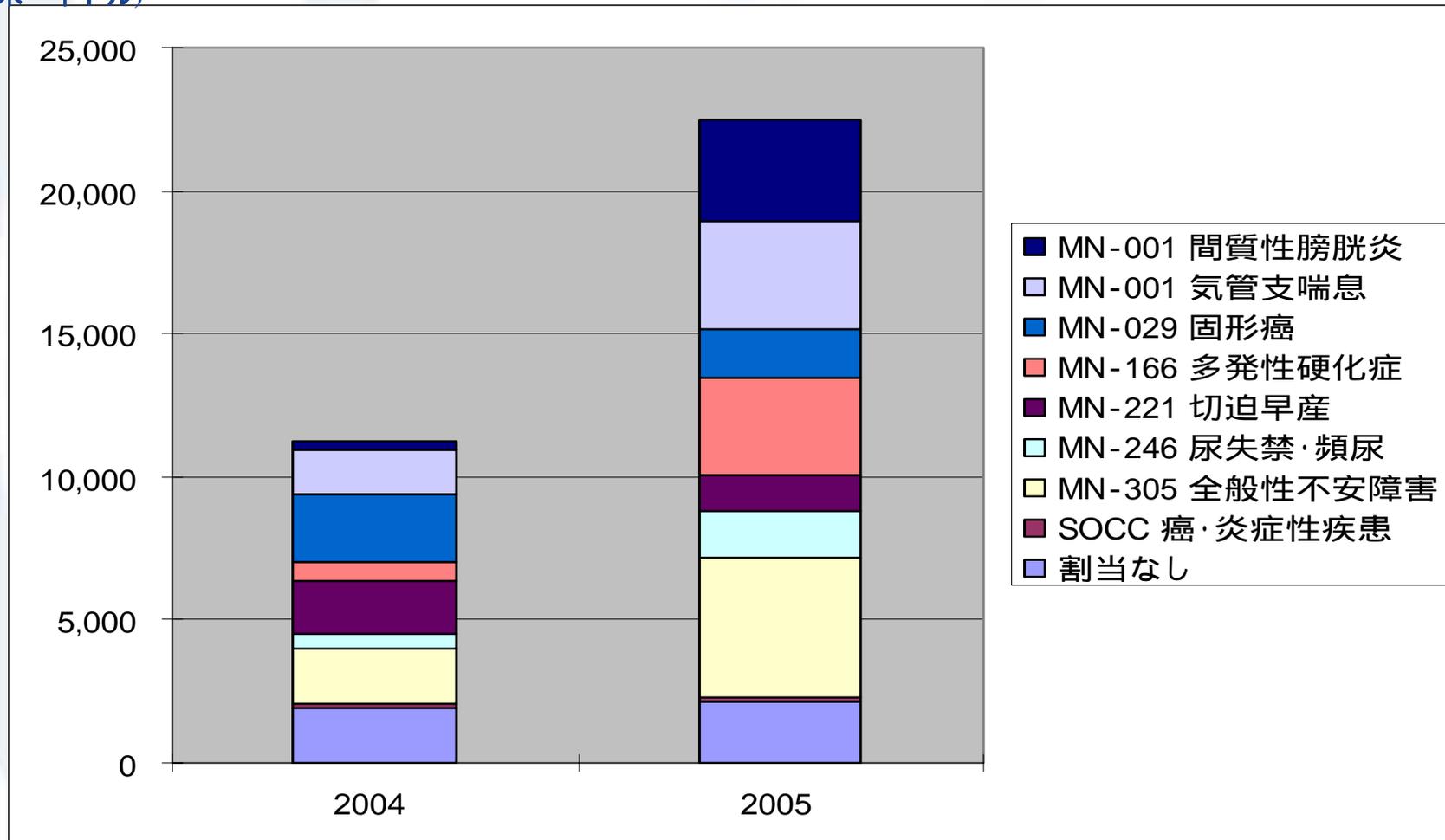
	FY2004	FY2005
研究開発費	11,210	22,464
一般管理費	3,160	7,314
株式報酬費用	34,294	439





研究開発費内訳推移

(米 千ドル)



貸借対照表のポイント

	2005	2004	対前年比増減	(米 千ドル)
資産の部				
流動資産				
現金及び現金同等物	\$ 37,678	\$ 38,801	\$ (1,123)	調達資金の短期運用
有価証券	101,023	12,000	89,023	調達資金の短期運用
その他	2,559	488	2,071	臨床試験活動の増加
流動資産合計	141,260	51,289	89,971	
固定資産	1,134	308	826	オフィス拡張
その他資産	-	2,172	(2,172)	繰越新株発行費用の償却
資産合計	\$ 142,394	\$ 53,769	\$ 88,625	
負債の部				
流動負債				
未払金	\$ 1,380	\$ 470	\$ 910	臨床試験活動の増加
未払費用	4,341	1,553	2,788	臨床試験活動の増加
未払給与等	905	563	342	社員増加
流動負債合計	6,626	2,586	4,040	
繰越賃料	60	31	29	
シリーズC転換型優先株式	-	43,483	(43,483)	普通株転換
負債合計	6,686	46,100	(39,414)	
資本の部				
優先株式	-	13	(13)	普通株転換
普通株式	99	1	98	新規株式公開、優先株転換
払込剰余金	256,943	103,603	153,340	新規株式公開、優先株転換
繰越株式報酬費用	(799)	(1,195)	396	株式報酬償却による減少
その他の包括損失累計額	(15)	-	(15)	有価証券の未実現損失
自己株式	(55)	-	(55)	自己株買い
開発段階での毀損欠損	(120,465)	(94,753)	(25,712)	
資本合計	135,708	7,669	128,039	
負債及び資本合計	\$ 142,394	\$ 53,769	\$ 88,625	

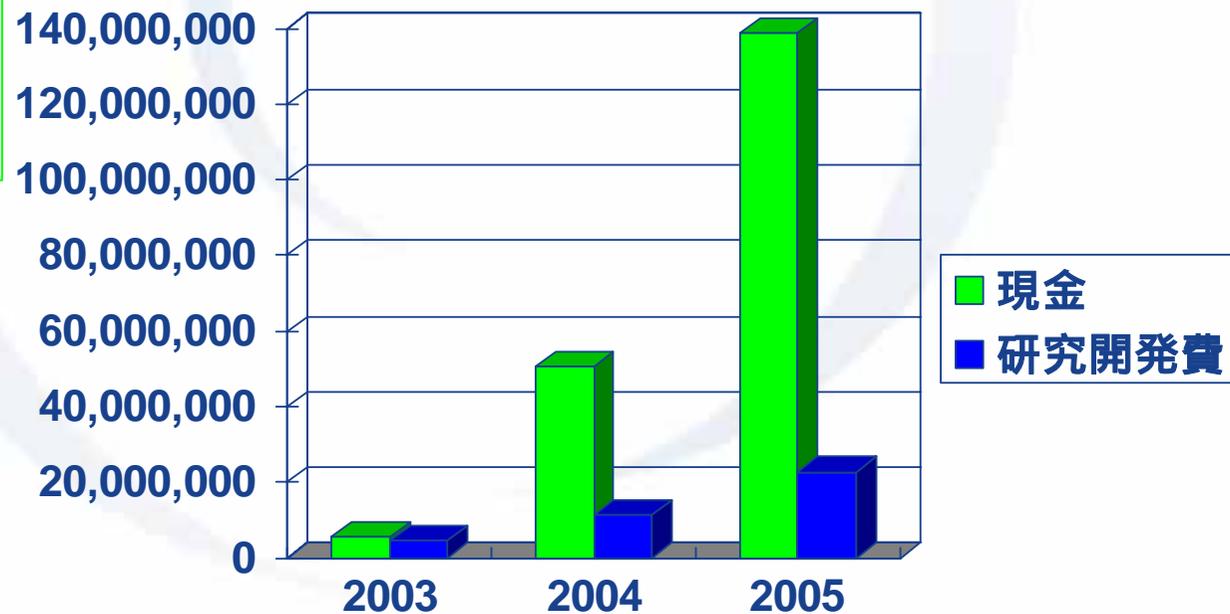


広義の現金(#)と研究開発費の推移

(単位：米ドル)	2003/12	2004/12	2005/12
広義の現金	5,490,699	50,801,328	138,700,884
研究開発費	4,723,158	11,210,285	22,464,411

研究フェーズが順調に進捗しながら
開発費の伸びは抑えられている
一方、現金は大幅に増加し、
開発余力は十分。

(#)広義の現金とは、現金及び現金同等物、売却可能有価証券の合計を意味します





売却可能な有価証券とは

(2005年12月末現在 単位:米ドル)

	取得価額	帳簿価額 (Fair Value)	未実現損益 (包括損失)
譲渡性預金	503,000	500,619	(2,381)
オークション式証券(#1)	69,750,000	69,750,000	0
社債(#2)	19,897,789	19,890,180	(7,609)
米国政府債(#3)	10,887,298	10,882,100	(5,198)
合計	101,038,087	101,022,899	(15,188)

(#1) 満期にオークションにより次の金利や配当が決まります。

(#2) 高格付の社債のみです。満期は1年以内です。

(#3) 米国政府が発行する債券です。満期は1年以内です。



優先株式の転換

(単位: 1株)	2004/12 IPO前		2005/12 IPO後	資金調達額 (純額)
旧普通株	500,000	普通株	500,000	\$50,000
IPO普通株	0	普通株	30,000,000	\$104,486,895
Green Shoe	0	普通株	1,573,000	\$5,557,773
転換型優先株A	1,000,000	普通株	10,000,000	\$10,000,000
転換型優先株B	291,150	普通株	29,115,000	\$26,812,651
転換型優先株C	27,667,856	普通株	27,667,856	\$43,404,320
合計	67,282,856	総発行数	98,855,856	\$190,311,639



ストックオプション

	2004/12	発行	キャンセル	2005/12	行使可能数
2000プラン (#1)	1,550,000	0	(345,833)	1,204,167	652,186
2004プラン (#2)	0	3,520,000	0	3,520,000	649,997
総数	1,550,000	3,520,000	(345,833)	4,724,167	1,302,183

(#1)、(#2)ともに普通株式購入数を表します。

(#1)加重平均行使価格は1.00ドルです。

(#2)加重平均行使価格は2.63ドルです。



ストックオプション

行使価格	残り期間	総数	加重平均	行使可能数	加重平均
\$1.00	7.8年	1,204,167	\$1.00	652,186	\$1.00
\$1.38 (167円)	9.9年	700,000	\$1.38	600,000	\$1.38
\$1.65	9.6年	20,000	\$1.65	0	\$0
\$2.34 (283円)	9.9年	1,050,000	\$2.34	18,748	\$2.34
\$3.31 (400円)	9.9年	1,750,000	\$3.31	31,249	\$3.31
合計	9.4年	4,724,167	\$2.21	1,302,183	\$1.25

In the Money Options - > 652,186個のみ



ワラント

行使価格	残り期間	総数	加重平均	行使可能数	加重平均
\$0.10 (#1)	1.8年	12,856,572	\$0.10	12,856,572	\$0.10
\$1.00 (#2)	3.4年	500,000	\$1.00	500,000	\$1.00
合計	9.4年	13,356,572	\$0.13	13,356,572	\$0.13

(#1) 創立者に付与されたワラント全てに対する株式報酬費用は、2004年に既に費用化されているため、今後行使されたとしても費用は発生しません。

(#2) このワラントは、転換型優先株式Bの発行費用として取り扱われたため、損益には影響しませんでした。



株式報酬の会計処理

APB 意見書第25号 (平成17年まで)

- Intrinsic Value Method → 付与時の株価 - 行使価格
- 勤務期間に費用認識
- 通常株式報酬費用 (Non-Cash) は発生しない

改訂SFAS 第123号 (平成18年より)

- Fair Value Method → 株式報酬の価値をブラックショール方式で算出
- 勤務期間にわたって費用認識
- 必ず株式報酬費用 (Non-Cash) が発生する



株式報酬の会計処理

	当期	前期
純損失 (APB 25適用)	(25,692,135)	(48,272,603)
加算：株式報酬費用 (APB 25)	439,157	34,294,495
減算：株式報酬費用 (SFAS 123R)	(1,090,107)	(17,946,851)
純損失 (SFAS 123R適用)	(26,343,085)	(31,924,959)

•前期の株式報酬\$34,294,495の内、\$34,069,916は創立者に付与されたワラントに対する株式報酬費用です。(APB25-変動測定vs.SFAS123R-無変動測定)



経営戦略ならびに開発パイプラインの状況

財務・管理担当上席副社長 鈴木讓二



事業戦略の修正

- ❖ 戦略的重点領域プログラムと提携プログラムの峻別を廃止

- ❖ 医薬品産業の構造変化
- ❖ MN-221の開発計画修正

- ❖ 事業開発は当面導出活動に特化

- ❖ 資本政策との整合
- ❖ 経営資源の効率的運用

株主価値のベンチマーク

企業名	時価総額 (百万米ドル)	2004売上 (百万米ドル)	2004純損失 (百万米ドル)	パイプライン	
				PII	PIII
メディシノバ	110	0.80 (2005)	30.1 (2005)	不安障害 喘息 間質性膀胱炎 多発性硬化症 切迫早産	
テリク	1000	0.16	69.8	血液腫瘍	抗癌剤
マンカインド	760	0.15	20.2		糖尿病
ヌベロ	720	0.20	52.5	循環器疾患	循環器疾患
アテロジェニックス	584	0	69.6		循環器疾患
ケリックス	566	0.81	32.9	糖尿病 抗癌剤	
バイオシスト	456	0.34	21.1	血液腫瘍	
ノースフィールド	322	0	20.3		人工血液
ネオファーム	241	0.16	57.6	抗癌剤 抗癌剤	



資本政策の課題とその強化

- ❖ 市場参加者の多様化
 - 私募株式の流動化

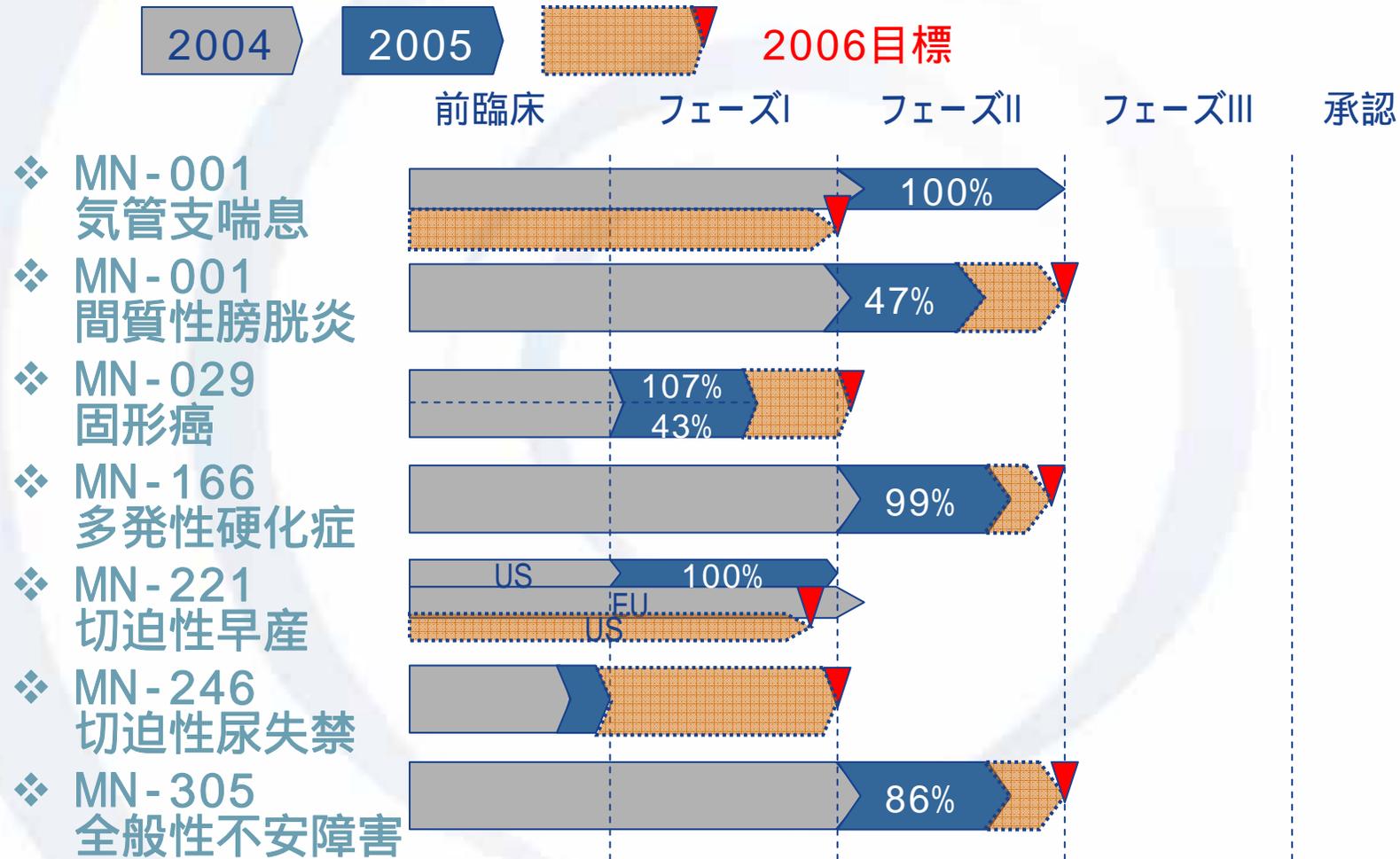
- ❖ 機関投資家へのIR
 - 決済問題解決後本格化
- ❖ 個人投資家へのIR
 - 日本語ホームページを個人投資家向けにリニューアル
- ❖ 株式保有前提の事業提携

- ❖ 事業価値と株主価値の乖離縮小
 - 将来利益の見通しが不透明

- ❖ 導出提携活動の強化
- ❖ 資金計画等の情報開示の充実
- ❖ 自己株式取得
- ❖ 株式報酬の拡大



開発プロジェクトのさらなる進捗





MN-029 固形癌

❖ フェーズ1 遅延

- 予定最大耐容用量でも副作用が発現しない。

❖ POC (PDマーカー) の確認

- 血流MRIにて、腫瘍血流の減少を確認

❖ 今後の見通し

- 現在、用量限定毒性(脳虚血)を確認
- 最大耐容用量同定の試験続行中
- 次期臨床試験の癌腫、併用薬剤の決定
- 2006年度中にフェーズI/II試験を予定



MN-221 切迫早産

❖ フェーズ1予定通り終了

- 静注での安全性を確認

❖ フェーズ2開始の遅延

- 評価項目の合意形成
- 欧州か米国か

❖ 今後の見通し

- 妊婦を対象に小規模の臨床薬理学的試験(フェーズ1b)を2006年に開始
- 引き続き評価項目への合意形成へ交渉継続



MN-305 全般性不安障害

❖ 精神症状

- 些細なことが気になり、とりこし苦労が多い。
- 根気がなく疲れやすい。
- イライラして怒りっぽい。
- 寝つきが悪く、途中で目が覚めやすい。
- 注意散漫な感じ。
- 記憶力が悪くなる感じ
- 悲観的になり、人に会うのが煩わしい。

❖ 身体症状

- 頭痛、肩こり
- 動悸
- めまい、頭がゆれる感じ
- そわそわする、もうろうとする。
- 身体の悪寒や熱感、手足の冷えや熱感
- 便秘や頻尿

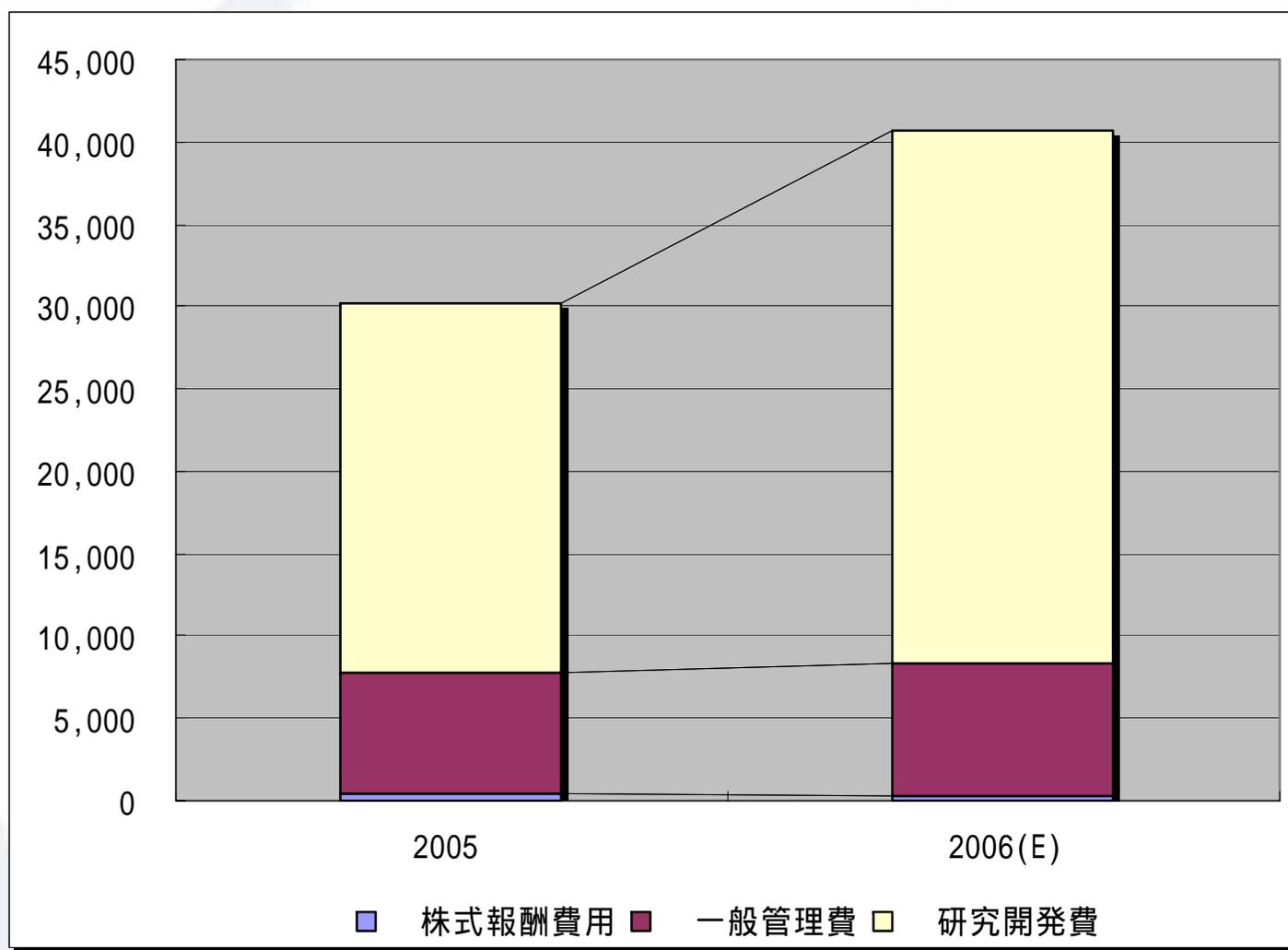
- 
- 全米の患者数は約400万人
 - 抗不安薬市場は約1100億円



次期業績見通し内訳

		通期	対前年度増減(比)
売上高(営業収益)		313,000	491,068 (61.1%)
営業費用	販管費	8,005,000	691,083 (3.1%)
	研究開発費	32,292,000	9,827,589 (43.7%)
	株式報酬費用	324,000	115,157 (26.2%)
営業損失		40,308,000	10,220,351 (34.0%)
受取利息		5,219,000	823,486 (18.7%)
当期純損失		35,089,000	9,396,865 (36.6%)
一株あたり純損失		0.37	0.08 (27.6%)

区分別営業費用の見通し



プロジェクト別研究開発費の見通し

